

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岡山済生会看護専門学校
設置者名	社会福祉法人恩賜財団済生会 支部岡山県済生会 支部長 山本 和秀

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程 看護師3年課程	看護師3年課程 (単位制)	夜・通信	91 単位	9 単位 (3×修業年限)	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校ホームページより公表 (https://www.okayamasaikango.jp/life/curriculum)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	岡山済生会看護専門学校
設置者名	社会福祉法人 ^{恩賜} 財団済生会 支部岡山県済生会 支部長 山本 和秀

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	<p>学校の運営に関する事項を協議する 審議事項は次のとおり</p> <p>(1) 学校の校則及び規定に関する事項 (2) 教育方針・教育計画・教育内容に関する事項 (3) 学校の人事の基準に関する事項 (4) 学校の定員・入学・退学・休学・復学及び卒業認定に関する事項 (5) 予算概要の方針に関する事項 (6) その他学校の運営・管理に関し重要と認める事項</p> <p>学校の運営全体を決定する会議であることから、外部人材もその決定に参画し、大きな役割を果たしている</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考(学校と関連する経歴等)
支部岡山県済生会 支部長	令和4年4月1日～ 支部長職の期間	前学校長
支部岡山県済生会 事務局総務部長	平成28年4月1日～ 事務局総務部長職の期間	元講師
岡山済生会総合病院 看護部長	令和2年4月1日～ 看護部長職の期間	特になし
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山済生会看護専門学校
設置者名	社会福祉法人 ^{恩賜} 財団済生会 支部岡山県済生会 支部長 山本 和秀

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)について</p> <p>○作成方法：様式を講師へ渡し、当年度の授業内容等を記載してもらう</p> <p>○作成内容：科目名、講師名、対象年度・対象学年、単位数・授業時間、授業目標、授業計画、教科書名、参考書名、授業の進め方、評価方法、学生へのメッセージ</p> <p>○授業計画書の作成：令和5年2月～3月</p> <p>○公表時期：令和5年4月</p>	
授業計画書の公表方法	<p>在校生については学校ホームページ上の在校生のみ閲覧可能なページで公表。一般の方については、開示請求があれば紙面にて公表する。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに記載された成績評価の方法・基準を示し、その内容で各授業科目の評価を行い、単位の授与または履修の認定を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習の授業や看護技術の評価方法は、筆記試験だけでなく実技試験を取り入れ、適正に評価できるように取り組んでいる。 ・公平に評価するため、臨地実習の評価においては各領域を担当している複数教員と臨地の指導者で行い、また、実技試験の評価は、評価にあたる全教員で行っている。また、毎年見直しを行っている。 ・1単位を複数講師が担当している授業科目が多いため、評価方法や各講師の評価点の配分をあらかじめ学生に示している。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1) 全ての授業科目試験の成績の評価は、100点満点で優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(60点未満)とし、60点以上をもって及第点としている。</p> <p>2) 授業科目ごとの成績評価点数の平均を出し、平均成績を相対的に比較して各学年の順位を把握し学習指導を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>在校生については、「学生便覧」に記載し配布する。</p> <p>一般の方については、開示請求があれば紙面にて公表する。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>基本的理念を基に本校の教育課程に沿って研鑽に努め、指定する卒業単位を修得することで、教育目標に示している能力・資質を修得し、それらを総合的に活用できる人に対して卒業認定、専門士を授与している。</p> <p>現在は教育目標として、学生便覧とホームページ上に公表しているが、ディプロマ・ポリシーとして公表する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生便覧に掲載</p> <p>ホームページにて公表</p> <p>(https://www.okayamasaikango.jp/school)</p> <p>※教育目標：「卒業認定・専門士授与に関する方針」</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岡山済生会看護専門学校
設置者名	社会福祉法人 ^{恩賜} 財団済生会 支部岡山県済生会 支部長 山本 和秀

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	財務諸表等については、社会福祉法人 ^{恩賜} 財団済生会のホームページで閲覧・入手可能。 (https://www.saiseikai.or.jp/about/information) 学校独自の財務諸表等については、ホームページで公表していないため、開示請求があれば紙面にて公表する。
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療（看護）		看護専門課程	看護師3年課程 （単位制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	104単位	64単位	13単位	23単位	0単位	4単位
			104単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		241人	0人	12人	93人	105人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）年間の授業計画にある教科科目のシラバスに示している授業方法及び内容を実施している。
成績評価の基準・方法 （概要）全ての授業科目試験の成績の評価は、100点満点で優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（60点未満）とし、60点以上をもって及第点としている。
卒業・進級の認定基準 （概要）各学年次配当の授業科目のすべての単位を修得していることで進級、指定する卒業単位を修得することで、教育目標に示している能力・資質を修得し、それらを総合的に活用できる人に対して卒業認定、専門士を授与している。

<p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担当とは別に小担当制をとっており、個々の学生に合った学修支援を行っている。また、各学年で特別講演や学習会や補習講義を計画するなどの支援を行っている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
62人 (100%)	1人 (1.6%)	61人 (98.4%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院 (看護師)			
(就職指導内容) 業者を利用し、学年に応じた就職説明を実施している。また、本校独自の小担当制を用いて、教員が学生個々に相談に乗り、対応している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格、保健師学校・助産師学校の受験資格、大学編入資格、「専門士」の称号付与			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
243人	15人	6.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人・保護者面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
看護師 3年課程	150,000円	250,000円	200,000円	施設整備費
修学支援（任意記載事項）				
岡山済生会看護専門学校奨学資金 日本学生支援機構				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページにて公表 https://www.okayamasaikango.jp/school 教育目標：令和3年度 自己点検自己評価結果（PDF）		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 卒業生等の学校関係者を選任し、評価を行う。「教育目標の到達度」「教育体制」「施設・設備」「学校生活」「授業評価」などを評価項目とする。 （卒業生代表者、岡山済生会総合病院看護部長、岡山済生会看護専門学校同窓会役員、他県済生会看護学校副校長） 評価結果については、学校運営会議に報告するとともに、学校の教育活動や学校運営等の質の保証と向上のために活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
岡山済生会総合病院	2年	看護部長
岡山済生会総合病院	2年	卒業生代表
岡山済生会ライフケアセンター	2年	同窓会長
大阪済生会野江看護専門学校	2年	副校長
学校関係者評価結果の公表方法 （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページにて公表 https://www.okayamasaikango.jp/school 教育目標：令和3年度 学校関係者評価結果報告（PDF）		
第三者による学校評価（任意記載事項） 現在実施していない。		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページアドレス https://okayamasaikango.jp パンフレット（ホームページより請求） https://okayamasaikango.jp/adomisson_request
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	岡山済生会看護専門学校
設置者名	社会福祉法人恩賜財団済生会 支部岡山県済生会 支部長 山本 和秀

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		30人	30人	30人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	21人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				30人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限りに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限りに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。